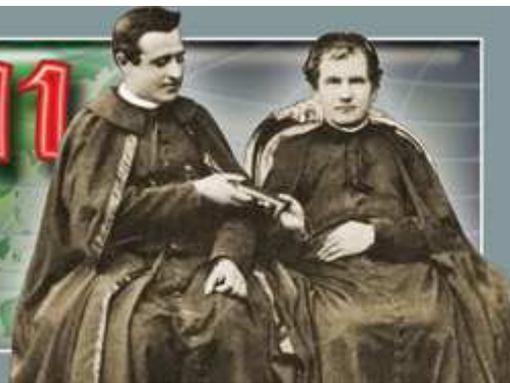


CAGLIERO¹¹

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.43 - 2012年7月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



福音宣教の大きな働きをする「宣教グループ」



サレジオ会員の皆さん、
サレジオ・ミッション
の友人の皆さん、

この4年間、心に抱いてきた夢について、再び皆さんと分かち合いたいと思います。何も新しいことではありません。すでに90年前、福者フィリッポ・リナルディ

はすべての支部にサレジオ宣教グループが必要だと書いています！ サレジオ会事業やサレジオ会養成共同体に宣教グループがあるかどうかで、何が変わるのでしょうか？ 宣教グループの存在は、宣教の火が燃え続ける保証になります！

医療の学校や病院がなければ医療が滞ると同じように、すべての人へ・生涯をかけて宣教する宣教師がいなければ、そして学校、小教区、ユースセンターに宣教グループがなければ、宣教の精神を保つのはとても難しくなるでしょう！

宣教グループは、宣教活動や宣教師の召命のために祈り、また祈るよう人々を招きます。世界的な宣教の使命に向けて教育司牧共同体の意識を高め、また、自分たちのいる場所の宣教活動に直接貢献したり、あるいは宣教ボランティア活動を通して海外のために貢献したりできます。

ここで、ある特別なグループを紹介したいと思います。最近、クラクフ管区（ポーランド）の特別視察の際、学校やオラトリオ、小教区のいくつかの宣教グループと出会いました。その中に特筆すべきグループ、Art 43があります。サレジオ会会憲の、広報について書かれた第43条を真剣に受けとめた数人のポスト・ノビスの会員によって5年前に創設されたグループです。この若いサレジオ会員たちは、サレジオ会の最も魅力的な姿は宣教活動にあると直観しました。Art 43は数年間で260以上の動画を制作し、ユーチューブにのせています (<http://vimeo.com/art43>)。クラクフの小さなスタジオのほか、宣教ボランティアの人たちの協力を得て、ガーナ・アシャイマン（AFW管区）の管区長館に視聴覚スタジオを開設しています（2011年）。現在、Art 43はロドのポスト・ノビス養成支部、そしてクラクフの神学院で非常に活発に活動しています。私は財布の中にArt 43による最初の作品を入れています。IDカードの形式に宣教師のための祈りがプリントされ、裏は曜日ごとに私たちが働いている3-4の国の名前が記され、思い出して祈れるようになっています。

私たちが働くすべての事業にこのようなグループを育てることができればと私は願っています！

Václav Clement

宣教師顧問
ヴァツラフ・クレメンテ神父

予定行事

7月30日-8月4日：研修会「イスラムの環境におけるサレジオ会事業」
於 サレジオ会本部（ローマ）

8月6-27日：第一回アメリカ大陸宣教師のための生涯養成コース
於 キート（エクアドル）

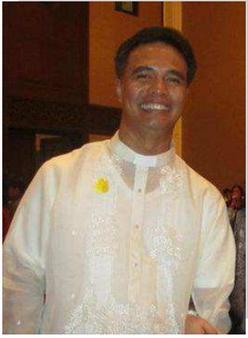
9月4-30日：新宣教師養成コース（ローマ、トリノ）

9月17日-12月6日：第15回宣教師生涯養成コース
於 UPS（ローマ）

11月5-9日：アフリカ・マダガスカルにおけるサレジオ・ミッションとキリストの第一次福音宣教
於 アジス・アベバ（エチオピア）

11月9-11日：アフリカ・マダガスカル管区宣教促進担当者会議
於 アジス・アベバ（エチオピア）

ドン・ボスコのように神の愛をあかしし、 カンボジアでサレジオ会カリスマを伝える！



子 どものころ私はハンセン氏病の人々の使徒、モロカイの聖ダミアンの映画を見てすっかり魅せられてしまいました。いつかそうなりたいと思う姿をダミアン神父のうちに見たのです。それは生涯、ハンセン氏病の人々に仕える宣教師の姿でした。

志願院に入ったときもこの望みを抱いていました。しかし月日がたつにつれ、自分の宣教師としての召し出しはハンセン氏病の人々のためではなく、疎外された青少年のためだと気づくようになりました。私はサレジオ会員としての最初の25年間、若者のために働き、それから管区の青少年司牧担当、その後、召命促進担当、また養成担当を務め、修練準備期生やポスト・ノビスの養成にたずさわりました。この年月の間、いつか海外宣教に行くという望みを抱き続けました。

とうとう私の申請は承認され、総長によって私はカンボジアに派遣されました。2008年、私は第139回宣教派遣のためにローマとトリノで行われた新宣教師オリエンテーション・コースに参加しました。このコースは、宣教生活の特質、目的、求められることについて、その全体像を示してくれました。サレジオ会宣教師としての生き方の計画を通して振り返りを行い、優先順位を設定することができました。また、正しい動機や姿勢を持つための助けを与えてくれました。サレジオ会の聖地への巡礼によって、自分のサレジオ会員としての召命、宣教師としての召命を深め、さらに愛せるようになりました。

カンボジアの宣教師となった今、私は、ドン・ボスコが生涯そうしたように、神の愛をあかすことによってカンボジアの若者や協働者にドン・ボスコのカリスマを伝えようとしています。共同体の私たち3人のサレジオ会員にとって、仕事は山ほどあります。しかし、皆が協力して支え合おうとすると、重荷は軽くなります。私たちの使命は貧しい若者たちのうちにいつもとどまり、彼らの教育と養成に献身することです。生徒や協働者のためにドン・ボスコと予防教育法について学ぶ養成セッションを行うほか、そのうちの何人かを選んで週末のオラトリオのリーダー、アニメーターとして奉仕してもらっています。また今年は、数少ないカトリックの生徒や協働者にカテキスタを務めるよう勧めました。地元の教会への奉仕を通して、彼らはドン・ボスコの道を実践に移すことを学びます。同窓生会を再開させ、サレジオニ・コオペラトリーも広めています。養成を一貫性のあるものにし、参加を促すことによって、彼らは一つのサレジオ家族としてサレジオの使命により積極的に関わるようになります。

私はクメール語の勉強を続けています。言葉をよりよく理解できるようになるにつれ、カンボジア人のものの考え方、文化、生き方もよりよく理解できるようになります。こうして今、宣教師になった1年目にくらべ自分がより忍耐強く、カンボジア人をより深く理解するようになったと気づいています。まず、今、人々に何ができるか、それを受け入れ、人々のレベルに合わせるできるようになりました。その次に、もっと想像力を働かせ、創意工夫し、成長発展の新たな道を発見できるよう、助けるようにしています。

このあいだの休暇で国に帰ったとき、自分の思いと心がカンボジアにあることに気がつきました。いつまでもそうであることを願い、祈っています！

フィリピン出身 カンボジアの宣教師 **ロエル・ソト神父**



サレジオ会の宣教の意向

東アジア-オセアニア:サレジオの宣教ボランティア活動の成長のために

東アジア-オセアニア地域のサレジオ会が、宣教ボランティア活動に熱心に取り組むよう、若者たちを助けることができますように。

東アジア-オセアニア地域の10管区のうち5管区に宣教ボランティア活動のプログラムがあります。この活動にたずさわるサレジオ会員のために祈ります。より徹底した生き方に向かい、長期的に献身するために成長するよう、若いボランティアを助けることができますように。活動に参加する若者のために祈ります(カリエロ・プロジェクト-オーストラリア、国際ボランティア・グループ-韓国、サレジオ信徒ボランティア-フィリピン北、SALVO-フィリピン南、DBVG-日本、たいまつ運動-香港)。若者たちが、休暇中の海外でのプログラムだけでなく、出身管区のボランティア活動にも参加し、熱意とエネルギーを注ぎますように

